



第 15 回 例会 報告 (10月17日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	55名	・出席数	33名	・欠席数	22名
・当日出席率	62.00%	・前々回修正出席率	90.38%		

<欠席会員>原田、檜垣(巧)、平田、加賀、冠、吉良、近藤、桑森、松木、村上(修)、村上(裕)、西本、尾越、竹田、田中、藤堂、渡邊、吉田  
 [免除会員] 青野、松本、白石、八木  
 <10/3 欠席補填>(9/30 今治北) 矢野 (10/1 今治南) 川上、檜垣(俊)、檜垣(巧)、眞鍋 (10/5 地区大会) 久米、松木 (10/15 松山) 村上(裕) (10/16 東予) 宮本

- ◆会長報告・例会前、関ガバナーをお迎えし、特別会議室にて会長・幹事懇談会を開催しました。
- ◆親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・八木正史会員：41歳を迎え「人生の折り返し点」という思いです。先輩方がこの頃にやっておけばよかったということがあればご教示ください。ちなみに、ヤンキースのイチローは、一年下の同じ誕生日です。既に大成したイチローを見て、自分は大器晩成と信じて頑張ります。

ガバナー講話

◆関裕司ガバナー：ロン・バートン RI 会長が、今年、サンディエゴでの国際協議会において発表したテーマは” Engage Rotary Change Lives”です。これを日本に持ち帰り協議した結果「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」と日本語訳されました。また、このテーマにはロータリーのモットーである” He profits most who serves best. (最もよく奉仕するものが最も報われる。)” という意味を含んでいます。年度末に開催される世界大会は、2年先の RI 会長を承認するための投票を行う重要行事以外は、主に懇親を深める場となっています。今年、リスボンで開催され、来年は、シドニーで開催されます。RI 活動のポリオ・プラスが終盤を迎えています。引き続き活動を継続し、ロータリーによってポリオ撲滅を実現しましょう。▼地区の方針「地域で世界でちょっといいことしよう」は、ロータリー活動そのものだと思っています。方針の中の「世界で」という言葉は、地方人にも世界に目を向けた活動をしてほしいという意味合いを含めたものです。インターネット等を利用して、世界にはどのような奉仕があるのか、何を欲しているのか、世界に目を向けてください。▼青少年奉仕もロータリー活動の大きなウェイトを占めます。長期・短期交換留学やインターアクトなどに参加した青少年は、ロータリーに関心を寄せる割合が高いので、将来の会員候補としてしっかりとかわっていきましょう。▼米山記念奨学会は、第二次世界大戦で日本が迷惑をかけた近隣の国々の学生の就学を援助しようとして始まったものです。「日本を悪し様に言う国の学生に援助するのはいかなものか」という意見もありますが、活動の趣旨をご理解いただき、現行レベルでの援助を継続できるようご協力をお願いします。▼奉仕活動を行うには会員増強が必要です。特に若い人、女性の増強を期待しています。最後に、人のために何かをすると、他人も満足し、自分も満足して「超私の奉仕」に繋がると思います。ただし、何かをするときには、無理なくできるレベルではなく、自分の限界をちょっと超えるレベルで行うことが大切です。



<ゲスト> 第 2670 地区ガバナー 関裕司様、ガバナー補佐 石原紘一様、随行 高村禎二様 随行 伊丹由美様、随行 石村浩様  
 <ビジター>今治南 RC 富士大俊哉様<生命保険>、西山剛生様<普通銀行>、寺尾幸佳様<薬局>

次回例会(10月24日)  
【 創立記念例会 】

<会員誕生日祝> 飯 忠悟氏 (10/28)  
 <配偶者誕生日祝> 吉武 誠治氏 (10/29)

[ 笹 ]